

さわやかライフ

SawayakaLife

姫路赤十字病院 広報誌



Contents

- | | | | |
|---------------------------|-------|-----------------------------|----|
| ○ 診療科のご紹介：小児外科 | 02~03 | ○ 薬剤部だより 細菌から守る食中毒対策 | 09 |
| ○ 出前講座・健康増進講座 | 04~05 | ○ 栄養課だより 夏バテ予防の食事のコツ | 09 |
| ○ 臨床研修医の「さわやかさん」たち | 06 | ○ リハビリテーションだより 生活を支えるリハビリの力 | 10 |
| ○ ふれあい看護体験 | 07 | ○ 看護学校だより 夏休みの看護学校事情 | 10 |
| ○ お仕事ノートに掲載されました | 07 | ○ がん市民講座 | 11 |
| ○ 救護看護婦像献花 | 07 | ○ 相の会 | 11 |
| ○ 看護部だより 地域に根ざした訪問看護 | 08 | ○ 医療安全川柳 | 12 |
| ○ 検査技術部だより 日常生活を変えない心電図検査 | 08 | ○ 日赤アプリ紹介 | 12 |

表紙写真：臨床研修医

医療安全川柳

医療安全推進週間の一環として「医療」「安全」を題材に募集した川柳をご紹介します

一般の部

まんしんを 捨てて初心の 謙虚さを
大切な 家族のサポート ありがとう
夢なかば 病に倒れし 涙枯れ
虎優勝 吉報知らず 遺影前
アレのアレ 猛虎のおたけび 日本一
母残し 先立つ息子 星になり
教えてよ 天国への 道しるべ
忘れない あなたのあの声 あの笑顔
ガン講座 受けてビックリ 先進技術
ダヴィンチは 想像以上の 3D機能
AI能力 私も欲しい 記憶力
慣れている その思い込み ミスの元

上田 眞由美
梶原 かおる
レッドクロス
レッドクロス
レッドクロス
レッドクロス
レッドクロス
レッドクロス
レッドクロス
レッドクロス

スタッフの部

てんこよし まちがえなしで えがおよし
わたすまえ しつかりチェック ごやくなし
よく似てる 一字ちがいで おおちがい
何か変 思つた時に すぐ確認
かんがえて たぶん・つもりに なつてない？
みたつもり それじゃあぶない ルートぶぶん
おかしいな ほつておかない そのぎもん
同室の 同時に返事 同姓者
思い込み わたしはしないと 思い込む
センサー鳴る ダッシュで走る こけないで
よくみてね あなたのまわり きけんあり
もう一度 その確認が ミス防ぐ
わすれまい かいたメモだけ ふえていく
あんぜんは 日々のカクニン おこたらず
だいじようぶ ダブルチェックで もういちど
「こけへんわ」 ふらつきあるよ みまもりを
「ほつといて」 ふらつきあるよ ささえるね
確認した つもりが積もり ミスのもと
医師の指示 信じすぎるな ナースパワー
ちよつと待て 本当にそれ 合っている？
あかんやん スリッパ履いたら 転ぶやん

新田 陽代莉
新田 陽代莉
作者不明
秋山 実里
井口 真優
松本
松本
内田 舞
内田 舞
内田 舞
濱田 真由
濱田 真由

吉岡 麻衣
吉岡 麻衣
吉岡 麻衣



患者サポートアプリの機能を追加しました

2023年1月より、患者サービス向上および外来待合スペースの混雑解消のため、患者サポートアプリ「姫路日赤アプリ」を開始しておりますが、この度、2024年8月1日より**「コンテンツ機能」**を追加し、さらに便利になりました。

現在、患者さんご自身のスマートフォンで、

- ① 次回受診日の予約状況確認
 - ② 来院日前日のメッセージ通知
 - ③ 当日の診察待ち状況の確認
 - ④ 診察順番が近づいた際の呼び出し通知
- といった機能を利用いたしておりますが、新たに
- ⑤ **コンテンツ機能**（説明動画等の事前提供など）
- を追加いたしました。

入退院センターの予約患者さんに対して、来院前に入院説明動画等を事前配信することが可能となり、**対面で説明・案内している入院時のオリエンテーションの一部を動画視聴**することで、当日の入退院センターでの待ち時間を短縮することが可能となりました。

今後も外来通院、入院支援の機能拡大を行ってまいります。
一人でも多くの方にアプリをご活用いただければと思います
ので、ぜひご登録ください。

※ご利用開始にはアプリインストール後、**アプリ登録窓口(2Fエントランスホール)**での登録手続きが必要となります。

※利用手数料は無料です。ただし、患者さんご自身のスマートフォンの通信料は、利用者の自己負担となります。

事務部 総務課・DX推進室

診療科の ご紹介

小児外科

左から
わたなべ
渡部 彩
医師
おかもと
岡本 光正
小児外科部長
のだ
野田 卓男
特任院長補佐

「安全を確認しながら、患者様にやさしく、
しっかり治す」を目指して



●お仕事に関する相談会のご案内●

仕事を辞めると
決めてしまう前に
今できることは何か一緒に考えませんか？

完全予約制

お気軽に
お問合せ
ください

当院では次のような **就労に関する相談会** を実施しています。

ハローワークの
出張相談
・毎月第2火曜日
14:00~16:00
・完全予約制

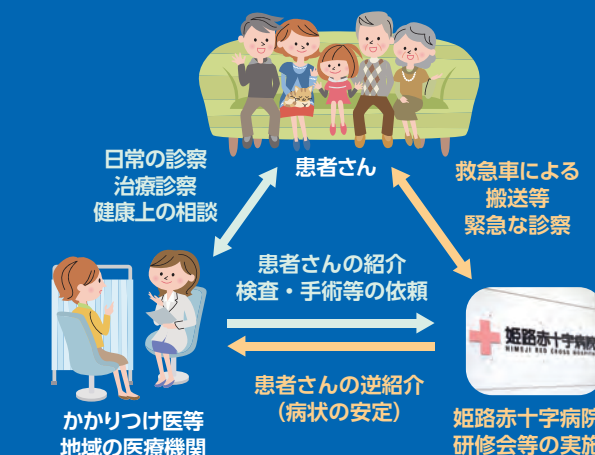
社会保険労務士による
相談会
・毎月第4金曜日
13:30~17:00
・完全予約制

お問い合わせは

お電話または相談支援センター窓口へどうぞ
電話 079-294-2251(代表) 079-299-0037(直通)

＼ 姫路赤十字病院を受診される皆様へ / かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医とは、日常的な健康管理や風邪をひいた時、あるいは体調などに不安を感じた時、慢性期の継続的な治療が必要な時にかかる診療所や医院の医師のことです。入院や専門的な治療が必要な時には、かかりつけ医からのFAX紹介で大きな病院にかかりましょう。



姫路赤十字病院は、「地域医療支援病院」です。

姫路赤十字病院 地域医療連携室
TEL: 079-294-2251(代)

小児外科は「小児の患者様の生命を守る救命治療、人生を守る臓器・機能再建治療を外科的に行う診療科」です。日齢0の新生児から15歳くらいまでのお子様を対象に頸部、気道・呼吸器、消化器、肝胆脾臓、腎泌尿生殖器といった幅広い臓器にわたる疾患に外科的治療を行います。その中でも、そけいヘルニア、陰のう水腫、停留精巣が手術症例の多くを占めますが、発症率が極めて低い(1例/5,000人-1例/10,000人)、生まれつき臓器に異常があるお子様に臓器再建、機能再建手術を行っています。姫路赤十字病院小児外科は特に、出生体重が数百グラムの超未熟児の患者様の手術も積極的に行っています(写真1)。



写真1

こうしたご病気は緊急手術が必要な場合が多く、常勤の小児外科専門医3名で24時間365日対応しています。また、当科ではこどもの内視鏡手術(カメラを使った傷の小さな手術)を積極的に取り入れ、特にそけいヘルニア根治術に対しては全例で導入しています(写真2-3)。このように「安全を確認しながら、患者様にやさしく、しっかり治す」を目指して日々診療を行っていますので、どうぞよろしくお願いします。
小児外科部長 岡本 光正



写真2

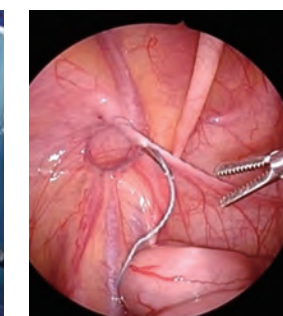


写真3



【下手野公民館】
 痔がんになって困ったにならないために



【青山公民館】
 痔がんになって困ったにならないために



【能地公民館】
 痔がんになって困ったにならないために



【学校】
 国際救援について



【企業】
 さらばピロリ、さらば胃がん？

出前講座

皆さんの健康づくり、お手伝いします

当院では、地域の皆さんに医療を身近に感じていただき、病気の予防や健康管理などの情報をわかりやすく提供するため、「出前講座」を開催しています。
 当院の医療スタッフが、講師として自治会、企業、学校などに出向き、地域の皆さんに医療講座を開催します。費用は無料です。ご興味のあるグループ、団体の方はぜひ当院までお問い合わせください。

お問い合わせ先 姫路赤十字病院 総務課 平日 8:30～17:00 079-294-2251

対象 各種団体(自治会、老人会、婦人会、PTA等)、事業所を有する企業、学校等の20名以上のグループ

開催日時 原則、月曜日から金曜日の9:00～17:00まで
 (土曜日、日曜日、祝日、17:00以降の開催については、別途ご相談ください)
 所要時間は質疑応答も含めて30分～40分程度を予定しています。

会場について 会場は原則、姫路市、太子町、たつの市、宍粟市内とさせていただきます。

費用 講師料は無料です。



お申し込み方法 QRコードを読み取るか、
 URLより当院ホームページをご覧ください。

<https://himeji.jrc.or.jp/category/gaiyou/class/kenkouzoushin02.html>

■ **出前講座**はQRコードからHPIにある『申込書』をダウンロード、ご記入のうえFAXでお申し込みください。

■ **健康増進講座**は、QRコードからYouTube動画がご覧になれます。



【企業】
 喫煙が「あなた」と「あなたの周りの人」に与える影響について



【企業】
 あなたの未来を守る！消化管がん死ゼロを目指して



【企業】
 痔がんになって困ったにならないために



【企業】
 女性のライフステージと病気



【企業】
 女性健康セミナー①



【企業】
 女性健康セミナー②

健康増進講座

当院では、医師や看護師、薬剤師、検査技師等が講師となり、「健康増進講座」をYouTubeにて配信しています。
 今後も様々なテーマで配信予定です。ぜひご覧ください。

わかりやすい 心房細動と心房細動治療の最前線



循環器内科副部長
 寺西 仁

甲状腺の疾患について



耳鼻咽喉科部長
 橘 智靖

MRI 検査について



放射線技師
 濱本 也次美

咳について



内科副部長
 中村 香葉

オーラルフレイルについて



歯科口腔外科部長
 藤原 成祥

口腔ケアの方法



歯科口腔外科 歯科衛生士
 北村 里織

わかりやすい 胃癌と内視鏡治療の最前線



消化管内科部長
 堀 伸一郎

CT 検査ってどんなの??



放射線技師
 CT 室

知ったク骨粗鬆症！骨太運動と転倒予防



理学療法士
 井上 貴博

リラクゼーションをしてみよう！～今日からすぐ実践できる～



公認心理師
 古好 佳代

口腔ケアについて



歯科口腔外科副部長
 高木 雄基

嚥下障害について



リハビリテーション科 言語聴覚士
 中野 朋子

小児への薬の飲ませ方



薬剤師

子宮がん検診と顕微鏡検査



検査技師長
 春名 勝也

減塩の工夫について



管理栄養士
 小泉 しずか



YouTubeの概要
 欄リンクより感想・評価・チャンネル登録お待ちしています！



臨床研修医の 「さわやかさん」たち 初期研修医の挑戦と成長

本年度4月より医科14名、歯科2名、総勢16名の個性豊かな同期とともに当院での初期研修がスタートしました。頼れる二年目の先輩方の背中を追いかけて、日々精進しております。

初期研修医の業務は2年間にわたって各診療科をローテーションし、その科で担当患者さんの診療にあたり、必要とされる基本的な医学知識、手技、考え方を身につけることから始まります。1ヶ月という短い期間で科を移るため、各科の知識の整理や得られる経験に追われ慌ただしくしていたり、慣れない業務に戸惑っている事も多くあります。しかしそんな中でも先生方やスタッフの皆様の熱心なご指導の下、充実した研修生活を送っております。

私たちは国家試験に合格し免許は取得しましたが、実臨床の現場では分からないことだらけです。患者さんにも「なんにもできない医者」といった印象を持たれることもあるかもしれません。確かに医師としても社会人としても1年目でありまだまだ未熟な私たちではありますが、患者さんに寄り添える、患者さんに信頼される医療者を目指して研鑽を積んでいきたいと思っています。

温かいご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

初期臨床研修医1年目 八若 遼太郎



新人研修について

●病棟業務

担当患者さんの健康状態を確認し、日々の診察を通じて気づいたことをもとに、指導医の先生と相談しながら検査や治療方針を決定、実行していきます。疾患について学ぶだけでなく、患者さん一人一人の体調変化や退院後の生活などについても視野に入れながら業務にあたっています。



●救急外来対応

救急外来を受診された患者さんの多くは研修医が初期対応を行います。患者さんの状態を素早く判断して上級医に報告し、救急外来で可能な検査や治療を進めていきます。時には必要に応じて緊急入院していただくこともあり、不安に感じていらっしゃる患者さんやそのご家族への気配りも、医療従事者として不可欠なものであると実感しています。

●検査・処置

内視鏡や気管支鏡、カテーテル検査などの様々な場面で、手技を学ばべく指導医の先生の補助に入っています。その他にも採血やルート確保等、一人で行いながら経験を積んでいくものもあります。どれも最初はスムーズに行きませんが、練習と実践を繰り返して上達を目指しています。



ふれあい看護体験

ふれあい看護体験は、兵庫県看護協会が行うイベントで、当院も毎年参加しています。午前中は、「看護師の仕事」「がんのお話」「命の大切さ」「災害救護・国際救援」について、伝えました。妊婦（職員）のお腹に超音波エコーをあて、児心音を聞きました。ナيتينゲル記章を受章された高原看護副部長から国際救援の話聞き、平和であること、教育を受けることが当たり前ではないことを考える機会にもなりました。

午後からは感染予防対策を行い、看護師と行動を共にする時間を作りました。看護師の言葉により、患者さんがどんどん安心した表情になることや些細なことにも気づき、手を差し伸べていたなど私たちが大切にしていることを感じてくれていました。感想では、看護師を目指す決意が伝わってきました。

看護部（教育担当）松井 里美



「小学生のためのお仕事ノート」に 当院が掲載されました



「小学生のためのお仕事ノート」は、姫路市・たつの市の小学3・4年生に配布され、自分たちの暮らす地域のさまざまな仕事について、学ぶことができる内容となっています。これからの未来を担っていく子どもたちに向けて、『姫路赤十字病院はどんな病院なのか、どのような職種があり、どのような仕事をしているか』などをわかりやすく紹介しています。

これからの未来を担う子供たちが、自分たちの暮らしと仕事との関わりを知り、将来の夢を描くきっかけの一助になればと思います。



救護看護婦像へ献花

当院では、毎年終戦の日に合わせて、第2次世界大戦中に日本赤十字社から戦地へ派遣され、殉職した救護看護婦らを追悼し、敷地内の救護看護婦像に献花と黙祷を捧げています。岡田院長が追悼の辞を述べた後、参列者全員で1分間の黙祷を捧げました。

犠牲を顧みず、過酷な戦場でおびたしい傷病者を献身的に支えた先輩方に思いをはせました。





看護部だより

地域に根ざした訪問看護

意思決定支援を支え、切れ目のない看護を提供する

姫路赤十字訪問看護ステーション 世良 優子

姫路赤十字訪問看護ステーションは病院併設の訪問看護ステーションです。

終末期の患者さんや医療機器を必要とされている方、特に医療的ケア児への訪問が多いのが特徴です。

私達は患者さんとその家族が安心して在宅で過ごせるよう支援していきたいと思い、「一人暮らしで体調のことが心配」「人工肛門を作ったけど、装具交換に自信がない」「人工呼吸器を使用してお家で生活する子供と家族のサポートをしてほし



い」など対象や希望は様々ですが、利用者と家族の生活や要望に合わせて療養生活のお手伝いをさせていただいています。療養生活中の症状の悪化や自宅での看取りなど、自分たちの力が及ばないことも経験します。しかし、家族の傍で穏やかにすごされている様子や、自宅に戻って生活する子供たちの成長を見られることが大きな癒しと喜びです。これからも地域の皆さんの在宅療養を支えられるよう当院をはじめ地域の皆さんと連携して切れ目のない看護を提供していきます。



検査技術部だより

日常生活を変えない心電図検査

不整脈再発の早期発見のために～1週間ホルター心電図検査について～

検査技術部 徳岡 由希子

心電図検査は、心臓の電氣的活動の異常（不整脈）を調べる検査です。通常的心電図検査では10秒間、長くても1分間の記録を行いますが、不整脈の種類によっては、その短い時間では発見できないことがあります。たまにしか出ない不整脈を検出するための検査が、ホルター心電図検査です。

1日かけて記録するホルター心電図は昔から行われていましたが、最近では、1週間記録するホルター心電図が普及しています。主に「心房細動」という不整脈の疑いがある患者さんを対象に、一時的な不整脈の有無を調べます。

1週間ホルター心電図は、胸に10cmほどの大きさの機器を貼り付けますが、厚さは5mmで、コード類はありませんので邪魔になりにくく、シャワーや運動を含めた日常生活の制限がないので、いつも通りの生活ができます。また、心房細

動は治療を受けた後も再発することがあるため、定期的に1週間ホルター心電図検査を受けることで、早期に再発を発見することができます。



シャワーや運動を含めた日常生活の制限がないので、いつも通りの生活ができます。

機種の一例



さわやかだより

各部・各課のスタッフから健康や医療の情報について紹介します。

DAYORI



薬剤部だより

細菌から守る食中毒対策

食中毒って？

薬剤部 福田 朋子

食中毒は、有害な微生物（細菌やウイルスなど）に起因する健康被害です。食品や飲料を介して有害物質が体内に入ると、腹痛、嘔吐、下痢、発熱などの症状が現れます。

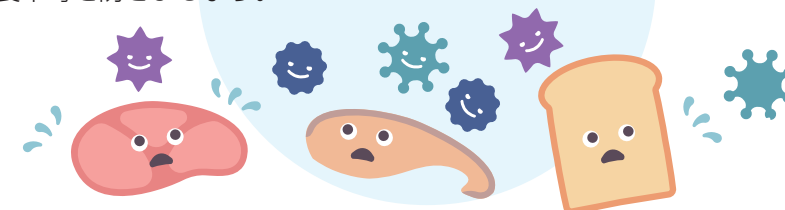
●夏の食中毒

梅雨時から9月頃までは高温多湿な状態が続く、細菌がもたらす食中毒が多く発生します。細菌性食中毒は1年を通じて発生しますが、特に食中毒を引き起こす細菌は30～40℃で最も増えやすくなります。

食中毒を招く細菌が増殖しても、食べ物の見た目や味は変わらず、匂いもしません。以下の行動を心がけ、食中毒を防ぎましょう。

<食中毒予防の3原則>

- ① つけない
 - ・手や洗える食べ物はしっかり洗いましょう
 - ・肉や魚はしっかり包んでほかの食べ物とはくっつけないようにしましょう
- ② 増やさない
 - ・生ものや、料理は早く食べましょう
 - ・保存するときは冷蔵庫や冷凍庫にすぐしまいましょう
- ③ やっつける
 - ・料理するときはしっかり加熱しましょう
 - ・食器や調理器具も熱湯などで消毒しましょう



栄養課だより

夏バテ予防の食事のコツ

夏バテ対策

栄養課 小泉 しずか

高温多湿の時期は体力の消耗が激しく、夏から初秋にかけては、体がだるく疲れやすい、食欲が無いなど夏バテになりやすいです。今回は暑い時期を乗り越えるための食事のポイントを紹介したいと思います。

○冷たい物ばかりに偏らないようにする

暑いからといって、冷たい物に偏らないように、食事では温かいメニューも取り入れるようにしましょう。冷たい食事は胃腸を冷やし、消化吸収能力が低下しやすいです。

○疲労回復を促すビタミンB1を多く含む食品を取り入れましょう

ビタミンB1は糖質をエネルギーに変換してくれる栄養素であり、不足すると食欲不振や倦怠感が起こりやすいです。豚肉、うなぎ、大豆製品、玄米、ほうれん草などに多く含まれています。

○栄養バランスを整えましょう

暑い時期は食欲が落ち、麺類などの主食に偏りやすいです。主食のご飯、パン、麺類の他にも、主菜（魚介類、肉、卵、大豆製品等のたんぱく質中心のおかず）や副菜（野菜、きのこ、海藻等のビタミン・ミネラル、食物繊維が多く含まれるおかず）を3食そろえ、食事バランスを整えましょう。

食事の他にも規則正しい生活、こまめな水分補給も意識して残暑厳しい季節を乗り切りましょう！





リハビリテーションだより

生活を支えるリハビリの力

がんのリハビリテーション 《その1～ 概論編》

リハビリテーション科 岡 智子

「がんのリハビリテーション」という言葉を耳にしたことがありますか？

リハビリテーションといえば、脳梗塞といった脳疾患や骨折などの運動器疾患に対して行われているイメージを持たれている方が多いのではないのでしょうか。

「がんのリハビリテーション」とは、がんそのものや治療による体への影響に対する回復力を高め、残っている体の能力を維持・向上させるために受ける医療です。

がんになると、がんそのものによる痛みや食欲低下、息苦しさ、だるさによって、今まで通り動けなくなったり、手術や薬物療法・放射線治療などを受けることによって身体機能が落ちたり、損なわれたりすることがあります。そうすると、日常生活に支障を来し、家事や仕事、学業など社会生活への復帰が難しくなり、生活の質が著しく低下することがあります。がんになっても、日常生活を維持し、自分らしい生活を送ることができるようサポートするのが、がんのリハビリテーションです。



看護学校だより

夏休みの看護学校事情

夏季休業中の様子

姫路赤十字看護専門学校 専任教師 中林 朝香

7/25～8/25までの夏季休業中の看護学校の様子を紹介します。1、2年生はオープンキャンパスのボランティアとして登校し、来校者の方に赤十字救急法で学んだ心肺蘇生法やシミュレーターを使用した肺音の聴診、経管栄養法の滴下調節など、参加者に様々な体験をしてもらえるよう企画運営してくれています。また3年生は、8/1に看護師国家試験の日程が発表されたため、国家試験に向けた学習にも熱が入って学習に取り組んだり、今までの実習体験を振り返りケースレポートとしてまとめたりしています。教員は、研修や学会に参加して自己研鑽したり、会議や学校の整備をしたり、授業準備や学生の学習支援などをしながら過ごしています。

今年は、酷暑でしたが静かで涼しい学校に来て、仲間とともに学習する学生が多かったように思います。そんな学生の元気な姿を見ながら、教員も日々、元気をもらっています。

夏季休業中、心身ともにリフレッシュしながら、夏季休業明けに全員そろった元気な笑顔をみるのが楽しみです。



3年生、頑張って学習しています



オープンキャンパスの様子(経管栄養の滴下調節)



「がんについてもっと知ろう! 市民講座 大腸がんについて」

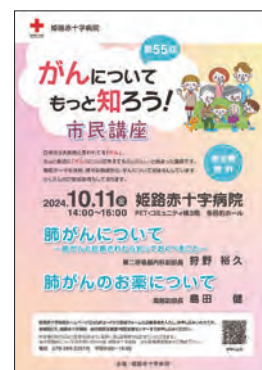
2024年7月25日(木) 大腸がんについて講演会を開催し、54名の方が参加されました。大腸がんの治療医の立場から、筑木隆雄第三消化器科部長による「大腸がんについて～診断と治療の最前線～」の講義では、大腸の解剖生理から検査方法、診断とステージ別の治療方法についてのお話がありました。また、栄養士の立場から、石原梨絵子管理栄養士による「がんとお食事について～大腸がんにかかわる食生活～」の講義では、がんのリスクを高めないための食品、お酒の飲み方、リスクを下げるコーヒーの量など具体的なお話がありました。

参加者からは、大腸がんにおける放射線治療の有効性や、炎症性腸疾患と大腸がんの関連についてなど、積極的に質問がありました。

また、アンケートでは「今後の生活に活かします」「大腸カメラの重要性を改めて認識しました」「まずは早期発見のために検診に行きます」という声をいただきました。

今回は10月11日(金)「肺がんについて」というテーマで、呼吸器内科医師とがん薬物療法の専門資格を持つ薬剤師からお話しさせていただきます。たくさんのご参加をお待ちしております。

がん診療連携課 井上 豊子



←お申し込みはこちら

※会場の都合により先着60名まで。定員に達し次第、締切とさせていただきます。



相の会は、すべてのがん患者さんと家族が対象の患者会です。

『相の会』のはじまり

「がんを生き抜くためには、同じ体験をした人との交流が必要。同じ悩みを持つ仲間と集まり、わきあいあい(相相)と過ごし、気持ちを楽にしながらがんと共に生きる力を持ちましょう!」と訴えかけた婦人科の患者さんの思いがはじまりです。

現在の「相の会」

平成15年に発足し、当初は婦人科の患者さんのみが対象でしたが、他科の女性患者さん、男性患者さんと少しずつ対象を拡大し、現在は当院への受診の有無に関係なく「すべてのがん患者さんとその家族」を対象としています。

私の素敵な出会い

私は「相の会」などの患者会のおかげで、がんになる前よりもずっと生きやすくなりました。患者会では、がんに関することや仕事のことを気軽に相談でき、さまざまな方々との出会いを通じて、多くの気づきや学びを得ることができ、今ではさらに前向きに、日々を生きやすく感じています。

6年前日赤での治療が終わり日常生活に戻ると一人ポツンと取り残されたようで不安で誰かに話を聞いてもらいたい。と考えている時に相の会のことを思い出し参加しました。

相の会の皆さんとても温かく迎えてくださり、普段は言えないがんになったことでの心配事悩みを気兼ねなく話すことができ「一人で抱え込んで頑張ってきたね。苦しかったね」と理解してもらえた事で安心し、同じような体験をされている方々のお話を聴くことで勇気づけられました。

私が再度入院手術をする時は「辛いことがあっても仕事辞めないで。会社にある制度を上手に使ってね」とアドバイスをもらい今も仕事を続けています。

コロナの時期、他の患者会に参加しレジリエンス脳育のことを知り心の回復力、脳のトレーニングのことを学び少しずつ生きやすくなっています。

相の会のような誰でも気軽に利用できる場所が増えればと感じ、がんピアサポーターの研修を受け利用される方に寄り添うことで恩送りをしていきたいです。

相の会メンバー 岡田 ゆうこ

「相の会」についてのご相談、ご質問等は総合相談支援課(079-294-2251代)または相談支援センターで受け付けています。お気軽にどうぞ。

